

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名: 鹿児島県

| | | |
|----------------------|--|--|
| 事業番号 | ① | |
| 1. 個別事業名 | 女性活躍推進会議運営事業 | |
| 2. 実施期間 | 平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日 | |
| 3. 総事業費 | 114, 151円 | |
| 4. 事業内容 | <p>(1)鹿児島県女性活躍推進会議の運営 働く場における女性の活躍を推進するためには、事業所の取組が不可欠であることから、経済団体や行政等が連携する県女性活躍推進会議の協議・活動を通じて県内の女性活躍への取組の促進を図った。 令和元年度は、女性の活躍推進及び支援策に関する協議を行うとともに、事業番号②(3)女性活躍推進優良企業表彰制度の見直しを行い、同会議にて表彰候補企業を選考した。</p> <p>第1回(R1.6.28) ・鹿児島県の女性活躍推進に向けた取組等の説明 ・構成団体の女性活躍推進に向けた取組等の報告 ・意見交換 第2回(R1.10.17) ・鹿児島県の女性活躍推進に向けた取組の説明 ・意見交換(アンコンシャスバイアスの解消, 男性の育児休業取得促進) ・令和元年度県女性活躍推進優良知事表彰候補企業の選考</p> | |
| | ・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 | 経済団体や行政等の多様な主体で構成する県女性活躍推進会議において、県内企業の女性活躍の取組状況等について情報を共有するとともに、意見交換を行い、事業に反映した。 |
| | ・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 | |
| | ・交付金事業間連携、他施策との連携 | <p>〈交付金事業間連携〉 ・前年度事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について同会議にて情報を共有し、意見交換を行った。 ・事業番号②, ③, ④の各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と連携し、構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 ・事業番号②(3)県女性活躍推進優良企業の表彰については、構成団体を通じて幅広く募集を行うとともに、同会議にて制度の見直しを行い、表彰候補企業の選考を行った。</p> |
| 5. 事業効果及び効果検証の概要 | 経済団体や大学等の多様な主体で構成する県女性活躍推進会議において協議された、企業や働く女性の立場からの意見を事業に反映させることにより、地域の実情に応じた取組の効果的な推進が図られた。 | |
| 6. 目標達成度及び達成状況に対する評価 | 鹿児島県女性活躍推進宣言企業制度登録数は、目標75社に対し、75社の登録となり、目標を達成することができた。 | |
| 7. 今後の課題 | 当県においては、鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、未だに男性中心型労働慣行等の企業風土は根強く、女性の活躍推進のためには、経営者及び管理職の意識改革が重要であり、今後とも、県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループ等と連携して、女性活躍の必要性についてのPRや企業へのより一層の働きかけを行う必要がある。 | |

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

| | |
|----------|--|
| 事業番号 | ② |
| 1. 個別事業名 | 女性が活躍できる企業応援事業 |
| 2. 実施期間 | 平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日 |
| 3. 総事業費 | 5, 295, 475円 |
| 4. 事業内容 | <p>(1)女性活躍推進フォーラム 男性中心型労働慣行等の職場環境・企業風土を改善し、女性活躍を推進するためには、企業トップが先頭に立って、女性の活躍推進、働き方改革を進める必要があることから、企業トップ等の意識改革を図るためのフォーラムを実施した。 日時:R1.11.21 場所:マリンパレスかごしま 参加者:122名 ①県女性活躍推進優良企業知事表彰(社会福祉法人クオラ, 株式会社森建設) ②表彰企業事例発表 ③講演「経営戦略としての女性活躍」 講師 小室淑恵氏(株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長) ④情報交換会</p> <p>(2)女性活躍推進アドバイザー派遣 経済団体や企業等が開催する定例会等に、女性活躍推進のアドバイザーや講師を派遣することにより、女性活躍の理解促進、取組の拡大を図った。 【アドバイザー】 ・安藤哲也氏(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事) ・園田博美氏(株式会社キャリア研究所代表取締役) ・藤原千晶氏(株式会社ワークライフシナジー研究所代表取締役) 【派遣先】10団体 ・始良市企業懇話会(R2.1.24)75名 ・鹿児島県建設業青年部会(R2.1.27)20名 ・霧島市誘致企業等交流会(R2.1.31)102名 ・奄美観光グループ(R2.2.25)27名 ・鹿児島県建設業協会奄美支部(R2.2.27)30名 ・鹿児島中央ライオンズクラブ(R2.3.5)20名 ・株式会社タマリバ主催企業勉強会(R2.3.10)6名 ・かごんまパパサークル(R2.3.19)12名 ・本坊商店グループ(R2.3.20)11名 ・鹿児島経済同友会教育・人材育成委員会(R2.3.23)13名</p> <p>(3)女性活躍推進優良企業の表彰 女性の登用や継続就業など、女性活躍推進に積極的に取り組む企業を表彰し、その事例を広く情報発信することで、女性活躍推進に取り組む県内企業の取組の促進を図った。 また、優良事例を広く情報発信するため、女性活躍推進フォーラムにて事例発表するとともに、取組事例集を作成し、県女性活躍推進会議構成団体を通じて、各企業や市町村、教育機関、ハローワーク等に配布し、県内全体への取組拡大を図った。</p> |

| | | |
|----------------------|---|--|
| 4. 事業内容 | ・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 | 各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と連携し、構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について県女性活躍推進会議において情報を共有し、今後の取組に反映する。 |
| | ・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 | 県内全域の企業に参加していただくため、各市町村を通じて、各事業の周知を図った。 また、女性活躍推進アドバイザー派遣については、地域バランスや市町村の意向なども踏まえ実施し、市町村の関連事業との連携を図った。 |
| | ・交付金事業間連携、他施策との連携 | 〈交付金事業間連携〉 ・事業番号③の女性向けに実施する事業と併せて、本事業の広報及び参加促進を図った。一企業からトップ・管理職・女性社員が参加するよう働きかけを行ったことで、企業内の気運醸成につながった。 ・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市、志布志市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。 〈他政策との連携〉 ・県雇用労政課が実施するかごしま「働き方改革」推進事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。 ・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。 |
| 5. 事業効果及び効果検証の概要 | 多様な人材の確保による新たな価値創造など女性活躍推進で得られる企業経営上のプラス効果の観点から講演いただくことにより、県内事業の経営者や管理職等に広く女性活躍推進についての理解を深めていただくことができた。 【女性活躍推進フォーラム】満足、やや満足と回答した割合 知事表彰・事例発表:92.5% 講演:94.7% | |
| 6. 目標達成度及び達成状況に対する評価 | 鹿児島県女性活躍推進宣言企業制度登録数は、目標75社に対し、75社の登録となり、目標を達成することができた。 | |
| 7. 今後の課題 | 当県においては、鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、未だに男性中心型労働慣行等の企業風土は根強く、女性の活躍推進のためには、経営者及び管理職の意識改革が重要であり、今後とも、県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループ等と連携して、女性活躍の必要性についてのPRや企業へのより一層の働きかけを行う必要がある。 | |

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

| | |
|----------|--|
| 事業番号 | ③ |
| 1. 個別事業名 | 女性のキャリアアップ支援事業 |
| 2. 実施期間 | 平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日 |
| 3. 総事業費 | 4, 421, 062円 |
| 4. 事業内容 | <p>(1)県女性活躍推進会議女性ワーキンググループによる協議 県女性活躍推進会議に設置している女性ワーキンググループにおいて、協議、意見交換を行い、女性活躍推進事業に反映させた。 第1回(R1.6.5) ・女性の活躍推進の現状と県の取組の説明 ・女性ワーキンググループの説明 ・コーディネーター2名による事例報告 ・意見交換 第2回(R1.12.24) ・鹿児島県の女性活躍推進に向けた取組の説明 ・働く女性の異業種交流会についての協議 ・アンコンシャスバイアスの解消に向けた取組についての協議</p> <p>(2)地域版・働く女性の異業種交流会(対象:働く女性) 女性活躍推進のさらなる気運醸成を図るため、働く女性の異業種交流会を開催し、意識の向上を図るとともに、ネットワークづくりの促進を図った。 ① 薩摩川内市「働く女性の異業種交流会 in 薩摩川内市 アップデート！私の働き方」 ・日 時:令和2年2月2日(日) 13:30～16:30 ・場 所:ホテルグリーンヒル 金峰 ・参加者:働く女性 45名 ・内 容:女性WGの活動報告,トークセッション,グループトーク,交流タイム ② 鹿児島市「働く女性の異業種交流会 in 鹿児島市 アップデート！私の働き方」 ・日 時:令和2年2月9日(日) 13:30～16:30 ・場 所:城山ホテル鹿児島 アメジスト ・参加者:働く女性 75名 ・内 容:女性WGの活動報告,トークセッション,グループトーク,交流タイム ③ 奄美市「働く女性の異業種交流会 in 奄美市 AMAMI WOMAN'S BIZ CAFÉ ～幸せに働きたいあなたへ～」 ・日 時:令和2年2月22日(土) 13:00～17:00 ・場 所:県立奄美図書館 第1研修室 ・参加者:働く女性 49名 ・内 容:女性WGの活動報告,トークセッション,グループトーク,ワークショップ</p> <p>(3)キャリアデザインセミナー(対象:働き又は働こうとする女性) 女性が働き続けることを目指して、専門的な講師のほか女性の先輩社員などをパネリストに迎え、意見交換等を実施した。なお、参加者のネットワーク形成を図るため、3回連続の講座とした。 【セミナー名】「わたし×働くのこれからをデザインする3Days vol.3」 共催・会場:マルヤガーデンズ 1日目 「しあわせに働ける社会へ」 日時:R2.2.1 参加者:95名 講師:竹信三恵子氏(ジャーナリスト・和光大学名誉教授) 2日目 「アサーティブ・トレーニング～“わたし”を“わたし”の真ん中に～」 日時:R2.2.16 参加者:29名 3日目 「“わたし”のことを“わたしたち”で語る～これまでの学びを振り返るダイアログ～」 日時:R2.2.23 参加者:31名</p> |

| | | |
|----------------------|--|---|
| 4. 事業内容 | <p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p> | <p>地域版・働く女性の異業種交流会については、女性ワーキンググループにおいて、協議、意見交換を行い、事業内容に反映させた。 また、セミナーの実施結果、参加者の意見、今後の課題等について女性ワーキンググループにおいて情報を共有し、次年度以降の取組に反映する。</p> |
| | <p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p> | <p>県内全域の働き又は働く女性に参加していただくため、市町村を通じて各セミナーの周知、参加促進を図った。 また、地域版・働く女性の異業種交流会については、開催地である薩摩川内市及び奄美市と共催で行い、市町村の関連事業との連携を図った。</p> |
| | <p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p> | <p>〈交付金事業間連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業番号②の企業トップや管理職向けに実施する事業と併せて、本事業の各種セミナーの広報及び参加促進を図った。一企業からトップ・管理職・女性社員が参加するよう働きかけを行ったことで、企業内の気運醸成につながった。 ・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市、志布志市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。 <p>〈他政策との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県雇用労政課が実施するかごしま「働き方改革」推進事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。 ・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。 |
| 5. 事業効果及び効果検証の概要 | <p>それぞれのセミナーで対象を分け、よりニーズに合った内容にすることにより、幅広い世代、様々な状況にある女性にアプローチすることができた。 また、キャリアデザインセミナーについては商業施設で実施したことにより、男女共同参画センターを知らなかった新たな層へも情報を届けることができた。</p> | |
| 6. 目標達成度及び達成状況に対する評価 | <p>参加者の満足度は目標値80%に対して、全て90%を超えており、目標を達成することができた。</p> <p>【地域版・働く女性の異業種交流会】(非常に良い、良いと回答した割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薩摩川内市 95.2% ・鹿児島市 98.6% ・奄美市 100.0% <p>【キャリアデザインセミナー】(満足、やや満足と回答した割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日目 94.0% | |
| 7. 今後の課題 | <p>働く女性の中には、責任が重くなることや長時間労働により仕事と家庭生活の両立が困難になることへの不安から、管理職に就くことに消極的な女性が多い状況である。</p> <p>このため、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲を持って就業できるよう、意識の向上やキャリアアップのための能力開発の支援を行う必要がある。</p> <p>併せて、ロールモデルの提示や交流の機会を提供するとともに、女性のネットワークづくりを促進する必要がある。</p> | |

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

| | | |
|----------|--|---|
| 事業番号 | ④ | |
| 1. 個別事業名 | どんどん鹿児島女性の活躍応援事業 | |
| 2. 実施期間 | 平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日 | |
| 3. 総事業費 | 3, 161, 233円 | |
| 4. 事業内容 | <p>(1)県内中小企業への専門家派遣 女性の活躍推進に取り組む県内中小企業に社会保険労務士等の専門家を派遣し、社内の意識改革のための研修を実施するほか、一般事業主行動計画の策定や制度の改善業務等を支援した。</p> <p>【対象】常時雇用する労働者の数が300人以下の事業主 【専門家】 ・園田博美氏(株式会社キャリア研究所代表取締役) ・藤原千晶氏(株式会社ワークライフシナジー研究所代表取締役) ・社会保険労務士 【派遣数】15社 ・女性活躍推進のための社内研修:5社 ・労働協約又は就業規則の策定又は改定:3社 ・事業主行動計画の策定:7社</p> | |
| 4. 事業内容 | ・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 | <p>事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と連携し、事業の周知、参加促進を図った。 事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について同会議にて情報を共有し、次年度以降の取組に反映する。</p> |
| | ・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 | <p>県内全域の企業に参加していただくため、各市町村を通じて、各事業の周知を図った。</p> |
| | ・交付金事業間連携、他施策との連携 | <p>〈交付金事業間連携〉 ・事業番号②の企業トップや管理職向けに実施する事業と併せて、本事業の広報及び参加促進を図った。 ・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市、志布志市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。</p> <p>〈他政策との連携〉 ・県雇用労政課が実施するかごしま「働き方改革」推進事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。 ・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。</p> |

| | |
|----------------------|---|
| 5. 事業効果及び効果検証の概要 | 一般事業主行動計画の策定・届出が努力義務となっている中小企業において、女性の活躍推進への理解を深めることができた。派遣した企業については、好事例として情報発信し、県内全体への取組の拡大を図る。 |
| 6. 目標達成度及び達成状況に対する評価 | 一般事業主行動計画策定企業数、鹿児島県女性活躍推進宣言企業ともに目標を達成した。 【行動計画策定企業数】目標:3社, 現状:7社 【宣言企業数】目標:75社, 現状:75社 |
| 7. 今後の課題 | 当県では、一般事業主行動計画の策定が義務づけられている従業員数301人以上の企業については、170社すべて策定しているものの、努力義務となっている企業においては、未だ56社に留まっている状況である。 引き続き、本事業において、中小企業における一般事業主行動計画の策定を促進するとともに、女性の採用、定着、登用に資する取組を支援することが必要である。 |